

学校総合体育大会兼関東・全国予選会実施要項

1. 日 時 ◆令和3年7月18日（日） 午前女子個人戦 午後男子個人戦 8 試合場

選手入場、受付（顧問・審判員）、検定開始	8 : 20	
<u>開始式</u> ・試合開始予定	9 : 30	女子1F入館
女子ベスト8（5分×23試合＝115分）約2時間		
女子準々決勝（4試合場一斉 5分）		
女子準決勝（2試合場一斉 5分）		
女子順位決定戦（1試合場一斉 5分）		
女子決勝（1試合場一斉 5分）	～12 : 00	女子2Fから退館し 男子は1F入館
女子終了式	12 : 10	
☆男子個人戦選手入場、竹刀検定開始	12 : 20	
男子個人戦受付・選手準備運動開始	12 : 50	
男子個人戦開始式・試合開始予定	13 : 30	
男子ベスト8（5分×23試合＝115分）約2時間		
男子準々決勝（4試合場一斉 5分）		
男子準決勝（2試合場一斉 5分）		
男子順位決定戦（2試合場一斉 5分）		
男子決勝（1試合場 5分）	～16 : 00	
<u>終了式</u> 予定	16 : 10	
退館	16 : 40	

◆令和3年7月27日（火）男子団体戦 7月30日（金）女子団体戦 4 試合場

選手入場、受付（顧問・審判員）、検定開始	9 : 00	
選手準備運動開始・審判監督会議	9 : 20	
<u>開始式</u> ・受付終了予定	10 : 00	
試合開始予定		開始式終了10分後
団体戦ベスト8（20分×12試合＝240分）	～14 : 10	
団体戦準々決勝（4試合場一斉 25分）		
団体戦5・6位決定戦（2試合場一斉 25分）		
団体戦準決勝（2試合場一斉 25分）		
団体戦決勝（1試合場 25分）	～15 : 50	
<u>終了式</u> 予定	16 : 00	
退館	16 : 30	

2. 主 催 埼玉県教育委員会・埼玉県中学校体育連盟

3. 後 援 公益財団法人埼玉県体育協会

4. 場 所 埼玉県立武道館

5. 試合方法 <団体戦>男女ともにトーナメント戦とする。

男女とも上位6校を関東大会、優勝校を全国大会の埼玉県代表とする。

男女とも5位、6位決定戦を準決勝の前に行う。

準々決勝より延長2分行う。勝負が決している場合、延長戦は行わない。

<個人戦>男女ともにトーナメント戦とする。

男女とも上位4名を関東大会、上位2名を全国大会の埼玉県代表とする。

6. 試合規則 全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、埼玉県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項による。

7. 参加者数 (1) 各地区予選通過チーム（者）とし、団体戦は男女ともに56チームとする。個人戦は男女ともに192名とする。

(2) 競技参加人数は、団体戦は男女とも、監督1名・選手5名・補員2名の計8名以内とする。個人戦の参加者には、監督1名をつける。

(3) 外部指導者については中体連専門部申し合わせで定める。

8. 代表者会議 令和3年7月6日（木） 埼玉県立武道館

個人戦の抽選については常任委員会を経て、強化部が責任抽選する。

9. 表彰	種目別	優 勝	準 優 勝	第 3 位
	団 体	全国代表旗、カップ、賞状、メダル	賞状、メダル	賞状
10. その他	個 人	賞状、メダル	賞状、メダル	賞状

今年度は引率の先生方全員で、大会運営を行う必要があります。遠方からの来場等、多々諸事情あるとは思いますが、大会当日は8時に御来場をお願いします。

別紙「参加の皆さんへのお願い」「大会日程」を熟読の上、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び円滑な大会運営に御協力をお願いします。

剣道競技 試合要項 (案)

埼玉県中体連剣道専門部 競技部

1, 試合について

- ・全日本剣道連盟（以下、全剣連）試合、審判規則同細則、全剣連「主催試合実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、並びに埼玉県中体連剣道専門部（以下、中体連）申し合わせ事項に則る。
- ・全剣連より 「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法」
 1. 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら大会実施要項に定める。
 2. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
 3. 試合者は、鏝迫り合いを避ける。接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの技（発声を含む）は認める。やむを得ず鏝迫り合いとなった場合、試合者はただちに分かれる。審判員は鏝迫り合いを解消しない場合には、ただちに「分かれ」を宣告する。また1) 意図的な「時間空費」2) 「防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則し反則とする。」この問題については、審判の裁量だけで解決するのは困難であるため、事前に試合者に対して、十分に指導、徹底することが必要である。
- ・統一事項（全剣連資料より）
 - ①マスクは鼻と口を覆う。
 - ②鏝迫り合いをしない試合を心がけさせる
 - ③鏝迫り合いになってしまった場合の対処。（分かれが多用されないように）
 - ・やむを得ず鏝迫り合いになってしまった場合はただちに分かれるか引き技をだす。
 - ・鏝迫り合いの解消は、お互いにいったん間合いを完全に切る。
 - ・場外間際の鏝迫り合いに関しては場外反則の恐れがある場合は主審が「やめ」をかけ、試合者を開始線に戻す。
 - ・相互に分かれようとしている途中の打突は有効打突とはしない。場合によっては反則を適用する。
 - ④反則となる行為
 - ・一方が分かれようとするところについていく、追いかける行為は反則となる。
 - ・鏝迫り合い解消途中で、完全に間合いが切れていないところで前に出る、技を出す行為は反則となる。
 - ⑤団体戦は試合時間3分3本勝負。勝負の決しない場合は引き分け。
 - ⑥団体戦における代表戦は3分1本勝負。勝負の決しない場合の延長は、（神奈川全中の資料より）
試合時間3分→延長2分→延長2分→（小休止・深呼吸程度）→
延長2分→延長2分→（面を外して休息・給水3分）→
延長2分→延長2分→（小休止・深呼吸程度）→
延長2分→延長2分→（面を外して休息・給水3分）→繰り返す
なお、給水場所については選手控え場所とし、その際顧問とのコミュニケーションは原則認めない。
 - ⑦個人戦は試合時間3分3本勝負。勝負の決しない場合の延長は、団体戦代表戦に準ずる。
※長期の活動停止期間かつ面マスク着用での試合実施による選手の体調面を考慮し、団体戦における代表戦、個人戦の延長については、上記の形で配慮する。

2, 試合の参加について

- ・従来の参加規程を遵守する。
- ・全剣連からの指示にある「面マスク」、並びに中体連申し合わせにより、「フェイスガード」の着用を義務とし、着用できない選手の参加は認めない。面マスク及びフェイスガードの規程は特に設けないが、一般に市販されている物や、全剣連から示された物等、競技に支障なく、かつ公正であるものを使用する。なおフェイスガードについてはマウスガードのみでの着用も可とする。
- ・大会に出場を予定している選手は2週間前から体温チェック等、体調管理を行う。当日は体調に問題がなく、かつ入館時にサーモグラフィと、赤外線式による検温チェックを通過した選手（生徒）のみ、大会に参加できるものとする。
- ・出場校の顧問は選手、生徒の『体調管理票』を受付時に提出するものとし、未提出及び内容に不備がある学校、選手の出場を認めない。

3, その他

- ・令和3年学校総合体育大会の抽選については令和2年新人戦のベスト4をシードとして抽選を行う。
以降新人体育大会兼県民総合スポーツ大会はベスト8までをシードとして例年通り抽選を行う。
- ・館内では原則マスクを着用する。
- ・試合会場内での集合やミーティングは行わない。行う際は、会場外でフィジカルディスタンス（1m以上離れる）に配慮した形で行う。
- ・競技役員は個人戦（生徒役員）団体戦（教員）で行う。
（計時／タイマー旗1名、掲示2名。休憩等、必要に応じて交代）
- ・各試合場の役員席には、「審判主任・試合場主任・計時／タイマー旗生徒・会場主任」の4名が着く。
- ・入館入口や各会場に消毒は用意するが、各校でも可能な限り準備する。
- ・「試合場数を限定する」「選手の待機場所は、各主審の両手側にそれぞれ設置する」等、できる限りの「密」対策を図る。
- ・会場内に観客席がある場合、1席ごとに「使用禁止」等の紙を置き、1席空けて座る等、観客席での「密」についても解消を図る。その際、その紙が置いてあるところ（観客間）に荷物を置いて良いこととする。
- ・その他、「参加の皆さまへのお願い」（別紙）にある内容に協力していただく。